

# 【長寿安心プラン2021の評価と次期計画策定へ向けた課題について】

## 1 長寿安心プラン2021達成状況一覧

施策目標	施策の方向	項目	令和元年度 現状	令和5年度 達成目標	令和3年度 実績	令和4年度 実績	達成状況 評価	未達成理由や改善等
介護サービス・在宅医療の提供体制の充実	介護サービスの提供体制の充実	ケアワーカーカフェ ① (参加者数/回) (介護人材確保促進事業)	5.2人	6人以上	—	7人	達成	
		② 認定調査票点検	全件点検	全件点検	全件点検	全件点検	達成	
		③ 認定調査員研修	年2回実施	年2回実施	年2回実施	年2回実施	達成	
		④ ケアプラン点検数	69件点検	70件以上	70件	70件	達成	
		⑤ 住宅改修着工前点検	全件点検	全件点検	全件点検	全件点検	達成	
		⑥ 住宅改修着工後点検	全件点検	全件点検	全件点検	全件点検	達成	
		⑦ 住宅改修着工後訪問確認	64件点検	65件以上	65件	65件	達成	
		⑧ 福祉用具購入の点検	全件点検	全件点検	全件点検	全件点検	達成	
		⑨ 福祉用具貸与の点検	軽度者全件点検	軽度者全件点検	軽度者全件点検	軽度者全件点検	達成	
		⑩ 縦覧点検の実施月数	12月実施	12月実施	12月実施	12月実施	達成	
		⑪ 医療情報との突合の実施月数	12月実施	12月実施	12月実施	12月実施	達成	
		⑫ 介護給付費通知実施月数	12月実施	12月実施	12月実施	12月実施	達成	
生活支援・介護予防の提供体制の拡充	介護予防・日常生活支援総合事業の拡充	ロコモティブシンドローム ⑬ (運動器症候群)を認知している人の割合の増加	41.6% (平成28年度)	80%	—	—	—	県民健康・栄養調査の結果が出ていない
		⑭ 低栄養傾向高齢者の割合の減少	18.5%	令和元年度より減少	12.9%	—	—	特定健診結果が出ていない
		⑮ 80歳で20歯以上の自分の歯を有する人の割合の増加	27.1% (平成28年度)	50%	—	—	—	県民健康・栄養調査の結果が出ていない
		⑯ いきいきシニア介護支援ボランティアポイント事業の登録者数	123人	123人	46人	25人	未達成	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により活動の場等が制限されたため(登録希望者向け説明会及び初任者向け研修会の開催中止、施設への立ち入りの制限、登録者の活動控えなど)
	地域における介護予防の推進に向けた取組	⑰ 健康寿命の延伸	男性 79.65歳 女性 83.51歳 (平成28年度)	平成28年度より延伸	—	—	—	健康プラン策定時に算出予定 (R5)
		⑱ 要介護認定率の低下 (65歳以上の要支援・要介護認定率)	18.8%	令和元年度より減少	19.3%	19.5% (R5.2現在)	未達成	・新型コロナウイルス感染症の影響により、介護予防関連事業が制限されたこと等が要因として考えられる。 ・要介護認定率が上昇する、75歳以上の人口が増加したため。
		⑲ 運動習慣者の割合の増加 (65歳以上)	男性 50.6% 女性 43.4% (平成28年度)	男性 58% 女性 48%	—	—	—	県民健康・栄養調査の結果が出ていない
		⑳ 1日の平均歩行数の増加	男性 4,811歩 女性 5,200歩 (平成28年度)	男性 7,000歩 女性 6,000歩	—	—	—	県民健康・栄養調査の結果が出ていない

# 1 長寿安心プラン2021達成状況一覧

施策目標	施策の方向	項目	令和元年度 現状	令和5年度 達成目標	令和3年度 実績	令和4年度 実績	達成状況 評価	未達成理由や改善等
高齢者の社会参加の促進	多様な社会参加の促進	㉑ 地域サロン（箇所）	282箇所設置	285箇所設置	268箇所設置	273箇所設置	未達成	新型コロナウイルスの流行による交流減少のため未達成ではあるが、コロナ収束に伴い令和5年度は目標達成が期待される。
		㉒ 金沢市高砂大学校・大学院（修了者数）	679名修了	700名修了	530名修了	438名修了	未達成	新型コロナによる活動自粛 によるもの
		㉓ 金沢ボランティア大学校（65歳以上の修了者数）	121名修了	100名修了	83名修了	95名修了	未達成	令和4年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により定員を減員したため、全体の受講者数が減少し高齢者の修了者数も目標を下回る結果となったが、その状況を考慮すると、十分健闘したと評価できる。 今後は感染状況を見ながら、定員増を含め高齢者が安心・安全な環境のもと受講できるよう努めていく。
認知症の方を支える体制の充実	地域で認知症の方を支える施策の推進	㉔ 認知症サポーター（養成人数）	33,354人養成（累計数）	3,000人養成/年	1,679人養成/年	2429人養成/年	未達成	コロナ禍による制限がありながらも養成人数は増加傾向。令和5年度は制限緩和により、目標数達成見込み。
		㉕ 認知症サポーター認定所（新規認定箇所）	780箇所認定（累計数）	10箇所認定	23箇所認定	24箇所認定	達成	
高齢者を支える重層的ネットワーク体制の構築	地域ケア会議等の役割の整理と地域課題解決機能の強化	㉖ 介護予防支援会議（件数）	150件	158件	73件	55件	未達成	新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、短期集中型通所サービス利用者が減少した。このため、同サービスの利用に係る支援会議の開催回数も減少した。今後も利用人数の動向を注視し、適切に対応していく。
		㉗ 地域ケア会議（開催数）	269回開催	228回開催	304回開催	265回開催	達成	
		㉘ ケアマネジメント支援会議（開催数）	39回開催	38回開催	26回開催	45回開催	達成	
		㉙ 地域ケア推進会議（開催数）	45回開催	46回開催	47回開催	47回開催	達成	
		㉚ 地域福祉座談会（開催数）	130回開催	216回開催	134回開催	109回開催	未達成	新型コロナウイルスの流行による交流減少のため未達成ではあるが、コロナ収束に伴い令和5年度は目標達成が期待される。

## 2 「長寿安心プラン2024」（第9期介護保険事業計画）策定に向けての課題について

「長寿安心プラン2021」施策目標に対する具体的取組の評価結果や第9期計画の基本指針（案）に基づき、長寿安心プラン2024策定に向けて次のように課題を整理する。

### 1 多様な住まいの確保

- 高齢者人口がピークを迎える2040年を見据え、中長期的な人口動態や介護ニーズの見込み等を踏まえた介護サービス基盤の整備
- 医療機関における、医療療養病床から介護保険施設等への転換意向を踏まえた介護サービス基盤の整備

#### 課題に関連する第8期計画における取組

- ・地域密着型特別養護老人ホーム及び認知症対応型共同生活介護（グループホーム）の整備を実施
- ・介護療養型医療施設を介護医療院へ転換

### 2 介護サービス・在宅医療の提供体制の充実

- 介護人材の確保に向けた、人材育成への支援、介護職の魅力向上の推進
- 介護ロボット・ICTの導入促進等による介護現場の生産性向上の推進
- 介護給付適正化事業の見直しを踏まえた対応
- 入退院時の医療・介護連携指針の周知、医療・介護の連携の強化及び医療・介護情報基盤の活用による、地域包括ケアシステムの一層の推進
- 様々な介護ニーズに柔軟に対応できるよう既存資源等を活用した複合的な在宅サービスの整備
- 居宅要介護者を支えるため、地域密着型サービスの更なる普及
- 事務作業のICT化や文書負担の軽減に係る、標準様式や「電子申請・届出システム」の導入などによる業務の効率化
- 在宅児童養育支援訪問事業（ヤングケアラー分）の推進

#### 課題に関連する第8期計画における取組

- ・介護職員人材確保・定着促進事業（かなざわ介護ラボ、ケアワーカーカフェ、ケアメンター派遣、キャリアアップ支援等）の実施
- ・在宅医療・介護連携推進協議会の開催による医療・介護関係者の多職種連携を推進
- ・在宅医療介護連携支援センターが作成した入退院時の医療・介護連携指針の改訂による入退院時の医療と介護の連携強化
- ・看護小規模多機能型居宅介護など、医療的ニーズに対応した介護サービスの整備
- ・介護サービス事業者の指定申請に係る添付文書の標準例を作成し、介護事業者の事務負担を軽減

### 3 生活支援・介護予防の提供体制の充実

- 介護予防・日常生活支援総合事業の提供体制の拡充やサービスの質の向上を検討
- 介護サービス相談員派遣事業の取り組みの強化
- 災害発生時の高齢者支援体制の整備

#### 課題に関連する第8期計画における取組

- ・介護予防・日常生活支援総合事業の充実
- ・一般介護予防事業の推進
- ・新型コロナウイルス感染拡大の影響による介護サービス相談員の活動の制限
- ・避難行動要支援者名簿の整備や福祉避難所の開設・運営体制の整備

#### 4 高齢者の社会参加の促進

- 高齢者の活動を支援するためのマッチング機能を強化
- ボランティア活動への参加の促進
- 高齢者が気軽に通える「地域サロン」等の場を充実
- 高齢者の就労支援や生涯学習・スポーツ活動への参加促進

##### 課題に関連する第8期計画における取組

- ・ アクティブシニア活躍応援窓口の開設等による活動支援
- ・ 新型コロナウイルス感染拡大の影響によるいきいきシニア介護支援ボランティアポイント事業の活動の制限
- ・ 通いの場や世代間の交流の場として地域サロンを開催

#### 5 認知症の方を支える体制の充実

- 地域包括支援センターの総合相談支援機能の活用による、認知症高齢者の家族等の家族介護者支援の推進
- 認知症の人ができる限り地域で自分らしく暮らし続けることができるよう 認知症施策を推進
- 認知症への理解を深めるための普及・啓発の強化
- 認知症施策推進委員会を中心に施策を検討し、認知症の方を支える体制を充実

##### 課題に関連する第8期計画における取組

- ・ 認知症サポーターの養成及び認知症サポーター認定所の拡大
- ・ 介護予防教室にて「いつでもどこでも脳活プログラム」を活用
- ・ 地域において認知症カフェの開催や認知症地域支援員を配置
- ・ 認知症施策推進委員会を開催し、認知症の方を支える体制の整備を推進

## 6 高齢者を支える重層的ネットワーク体制の構築

- 地域ケア会議による地域課題解決機能の強化
- 地域住民の支援ニーズに対応する包括的な支援体制の構築
- 新たな日常生活圏域における地域包括支援センターにより質の高い支援を実施

### 課題に関連する第8期計画における取組

- ・地域ケア会議を開催し、多職種の連携による地域課題を集約することにより、高齢者に対する支援体制を構築
- ・支え合いソーシャルワーカーを市社会福祉協議会に配置し、複雑な困りごとを抱える人を支援
- ・生活支援コーディネーターの配置などにより重層的支援体制を整備
- ・新たな日常生活圏域のあり方を検討し、新たな圏域での地域包括支援センターを公募型プロポーザル方式により公募を実施

## 7 市民への適切な情報提供と市民参加の促進

- より多くの市民に効果的で効率的な方法による適切な情報提供を検討

### 課題に関連する第8期計画における取組

- ・高齢者施策に関するパンフレットや医療介護に関する情報をHP等に掲載
- ・長寿安心プラン2021の骨子案や概要を動画で配信
- ・介護予防・日常生活圏域ニーズ調査などのアンケート調査を実施

## 8 その他検討すべき課題

- ハラスメント（カスタマーハラスメントを含む）対策を含めた働きやすい職場づくりに向けた取組の推進
- 災害や感染症が発生した場合にも必要な介護サービスが提供できる体制構築のための、業務継続計画（BCP）の策定の援助
- 新型コロナウイルス感染症により縮小した事業の実施